

# 中国乳業大手に供給

機能性食品  
素材

## ファーマフーズ 健康市場に的

ファーマフーズは中国の内モンゴル自治区に本拠を置く大手乳業メーカー「蒙牛乳業」に機能性食品素材「ボーンペップ」の供給を始めた。中国では一人っ子政策の影響など子どもへの健康への関心が高まっており、機能性食品の市場が拡大すると判断した。ファーマフーズは蒙牛乳業向けの供給で、初年度は2億円の売上高を見込む。

蒙牛乳業が販売する「高カルシウム牛乳」と「低脂肪高カルシウム牛乳」の2商品に採用された。同社と取引する中国全土のスーパーや量販店などで取り扱ってもら

う。高カルシウム牛乳の価格は250ミリリットル入りで2・5元(約30円)と現地の一般的な牛乳より高いが、都市部の富裕層などに売り込む。

ボーンペップは卵黄の成分を酵素分解して抽出した。ファーマフーズは骨の成長にかかわる素材としている。今回の商品には日本で製造したものを輸出し、牛乳100ミリリットル当たり0・3ミリリットルを配合する。国内ではロート製薬などが販売する機能性食品に採用された実績があるという。

ファーマフーズはこれまで中国企業向けに製品を試験的に販売していた。今回の取引を契機に本格的に同国への輸出に取り組み、納入先も増やしていく方針だ。